

# 重点プロジェクト検討部会

資料①

## オープンワークショップの開催概要

### 開催日時

平成 30 年 8 月 31 日（金）18：30～20：00  
18：30～ 文化振興計画策定の背景と概要  
18：50～ ワークショップ  
19：45～ まとめ

### 参加者

18 名（審議会委員 6 名、一般 12 名）

### 検討テーマ

13 万人の文化プロジェクト  
～「文化で人と人がつながる事業」の研究と展開～

- ①（仮）ヒトとオトの通り道 プレミアムコンサート
- ②（仮）おでかけシアタープログラム
- ③（仮）リラクソド・パフォーマンス

※詳細は別紙

①②はアウトリーチ（出前）、③は文化ホールで行うもの

### ワークショップの成果発表

※1 グループにつき 1 テーマを発表

- ①（仮）ヒトとオトの通り道 プレミアムコンサート
  - ・通勤者を対象とするのであれば平日の夕方から。
  - ・お子様連れを対象にするのであれば平日の昼間。
  - ・定期的実施することで意識づけが可能。
  - ・スポーツ、飲食等のイベントとの組合せで文化に興味のない方も呼び込めるのではないか。
  - ・ミスマッチにならないよう登録制度を作っては。
  - ・ダンスや書道、プロジェクションマッピングなど目に訴えるものがあっても良い。

### ②（仮）おでかけシアタープログラム

- ・対象が高齢者であれば駅前。椅子の準備も必要。
- ・ジャンルはその場の雰囲気合ったもので。
- ・支援者も一緒に楽しめるダンスや太鼓のプログラムが良い。
- ・町内会長や近所の誘い合わせがあれば参加しやすい。
- ・相手の都合に合わせて出向くことが大事。
- ・つながりを求める人には、見る、やる、支える等一貫したサポートが必要。

### ③（仮）リラクソド・パフォーマンス

- ・みんなが共通するものは酒文化。そこを掘り下げられれば、共有できるものや技術が思い浮かぶ。
- ・文化とは何か、地域とは何かということについて考えていけば、具体的に見えてくる。

### まとめ（木下部会長）

- ・全体的に時間が足りない印象。
- ・短い時間で非常に細かい提案をいただいた。
- ・文化だけでなく、スポーツなど色々な分野も視野に入りたい。
- ・滋賀県は食が豊かであり可能性がある。
- ・今後、多様な催しとの連携や、地域の様々な空間の活用を具体的にしていきたい。
- ・まずは実験的に実践していければと考えている。
- ・プロジェクトの名前については、一般の方に分かりやすい名称を期待したい。

### 今後のスケジュール

- H30 意見書の提出（部会の成果とりまとめ）
- H31 社会実験、モデル事業の実施
- H32 文化ホールが中心となって展開



▼ワークショップの様子



▼発表の様子



▼ワークショップのまとめ